様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業	主管課名	生涯学習課
この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		
	施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち	課長名	藤本修身
	基本事業	生涯学習講座の充実		

(1)事業の概要

平成11年9月に「みよし悠学カレッジ」を開講し、平成14年に現在の「学習交流センター」を拠点として事業を開始した。多様化する住民のニーズや社会情勢の変化に対応した講座の計画と受講機会の幅を広げていく。
開催講座
◎公開講座　◎生活創造講座　◎国際理解講座　◎情報・通信講座
平成25年度から高齢者教室開催事業における一部講座をみよし悠学カレッジ講座運営事業と統合し、高齢者優先講座として開講した。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	講座数	講座
②	講座受講者数	人
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	講座内容企画→講師依頼→広報→募集受付→抽選→受講者決定→受講料納入→講座開講準備→講座運営→調査分析(アンケート)→反省
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①義務教育終了の市内在住者
(市内)在勤・在学者

その指標

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	市内15歳以上の人口	人
②	市内への在勤・在学者数(国調流入人口)	人
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①生涯にわたって学習する意欲を持ち、日常生活で取り組んでもらう
②講座の存在を知り、参加する

その指標

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	講座申込者	人
②	講座に初めて参加した人数	人
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

学習意欲を持ち講座へ参加してもらう

その指標

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	生涯学習講座受講者	人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	講座	132	131	126	133	159	167
	②	人	2,423	2,191	2,541	2,870	3,450	3,790
	③							
(6)の対象指標	①	人	48,143	48,743	49,500	50,200	50,900	51,700
	②	人	21,826	21,826	21,826	21,826	21,826	21,826
	③							
(7)の成果指標	①	人	3,174	2,829	3,300	3,700	4,400	4,900
	②	人	250	217	228	231	240	244
	③							
(8)の結果の成果指標	①	人	5,710	5,010	5,656	5,985	6,325	6,665
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	10	項	05	目	09

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	19,416	16,842	19,377	18,099	20,094	19,190
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	8,776	9,384	10,397	10,439	11,811	11,859
	一般財源	千円	10,640	7,458	8,980	7,660	8,283	7,331
人件費B		千円	19,711	22,873	22,873	22,873	22,873	22,873
	正職員従事時間×人数	時間×人	390 × 4	645 × 4	645 × 4	645 × 4	645 × 4	645 × 4
	正職員以外の人件費	千円	13,834	13,308	13,308	13,308	13,308	13,308
その他費用C		千円	336	307	307	307	307	307
トータルコストA+B+C		千円	39,463	40,022	42,557	41,279	43,274	42,370
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	1	1	1	1	1	1
	②	千円/　人	2	2	2	2	2	2
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成11年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

市民の生涯学習への意欲の高まりに応えるため

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容　主管が教育委員会から市長部局へ変更された（平成19年度から）

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

みよし市の生涯学習の一事業として、平成11年度から悠学カレッジ講座を実施しているが、受講者のニーズの変化により卒業制度（単位制度）を廃止したり、機構改革等により他の講座事業を統合したりして、現在では悠学カレッジ設立当初の理念とは異なった事業展開となっている。平成28年度には一部図書館事業との統合も予定されているため、みよし悠学カレッジ講座運営事業を一度廃止したうえで、事業内容を見直した新たな生涯学習講座運営事業を設置する必要があると思われる。

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	なし	
			この事務を行う根拠又は理由	みよし悠学カレッジ運営要綱 生涯学習推進基本計画に基づき実施する	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	今の成果水準を維持していく。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	勤労青少年ホーム講座・交流活動事業,読書啓発事業等	
			類似事業との再編の可能性	■ある □ない	内容：生涯学習講座の一元化
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある → ■現状で適正 □ない → □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	□現状維持	□縮小	■統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	↑ 向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	平成28年度の複合施設の運用を機に、№570101勤労青少年ホーム講座・交流活動事業における講座等、生涯学習講座として運営できる類似事業（生涯学習が目的とならない講座を除く）を一元化する。					